



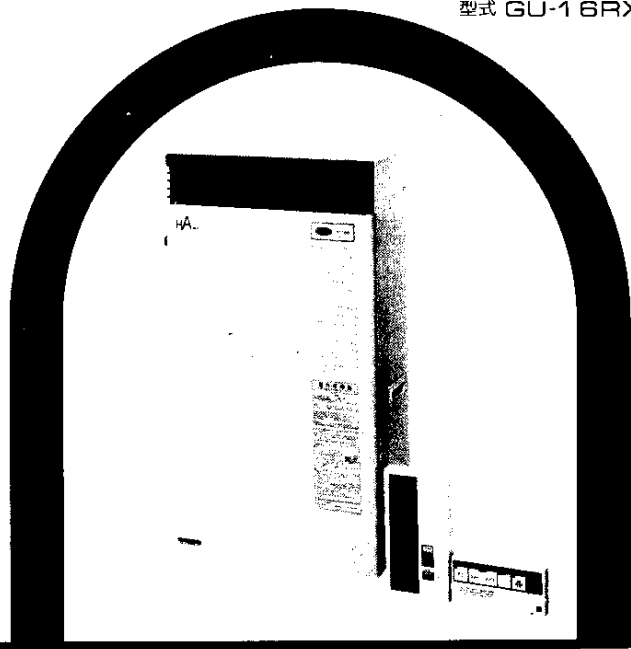
ガス風呂釜 〈電子コントロール比例制御方式〉  
〈セントラル給湯機能付き〉

# 取扱説明書

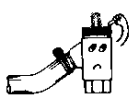
31-055型

保証書付

型式 GU-16RX-B



ガスゴム管も  
ときどき点検  
よいゴム管を  
カッチリと



ガス器具を  
お使いになつた  
あとは必ず  
もとコックも  
閉める習慣を



空だきには十分  
注意しましょう。



ガス器具は  
ガスの種類にあつた  
正しいものを

## ごあいさつ

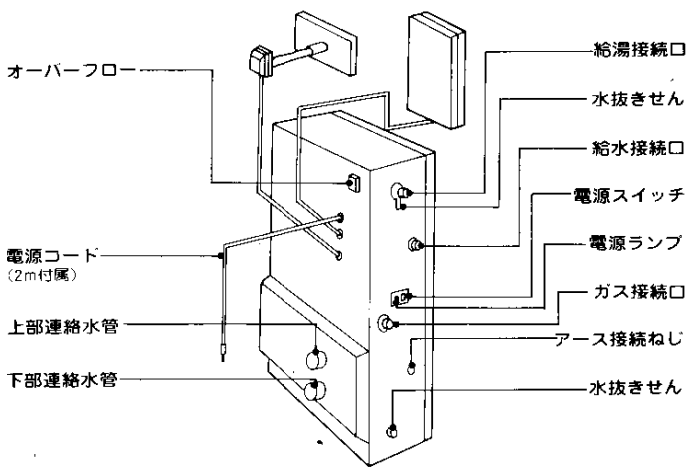
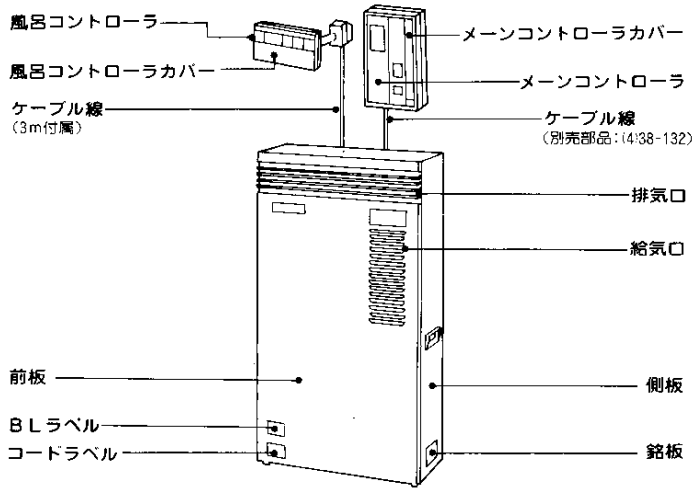
このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

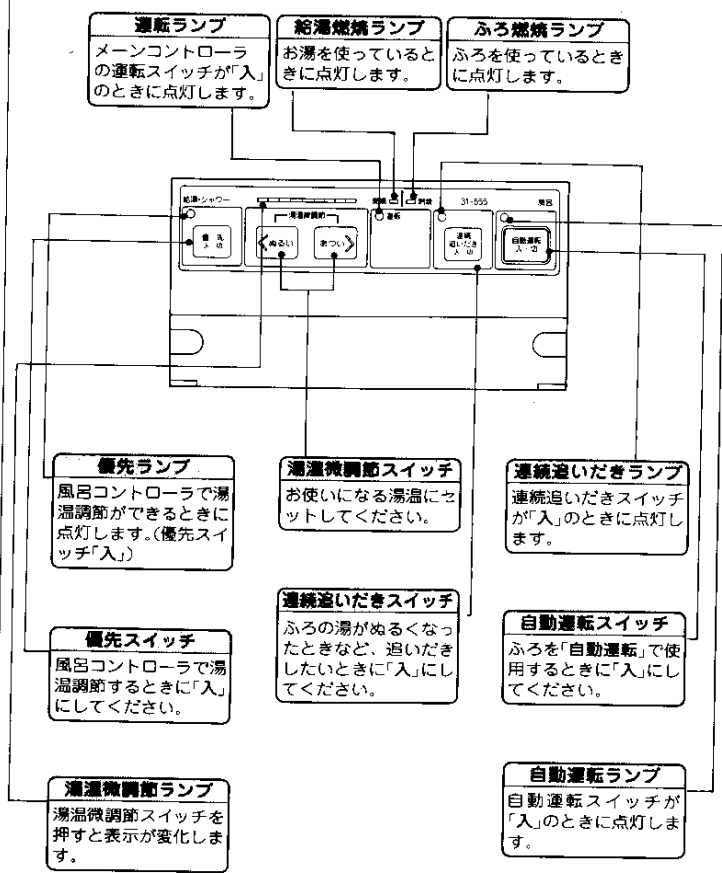
## もくじ

●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	4
●器具の設置	8
●使用手順	9
●使用時のご注意	28
●凍結防止について	30
●日常の点検・手入れ	32
●故障・異常の見分け方と処置方法	34
●長期間使用しない場合	35
●アフターサービスのお申し込み	35
●寸法図と仕様一覧表	36

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。



風呂コントローラ



## メインコントローラ

**お知らせモニター**  
現在時刻、予約時刻、運転状態などを表示します。

**時刻スイッチ**  
時刻を合わせるときに押してください。

**予約スイッチ**  
予約を合わせるときに押してください。

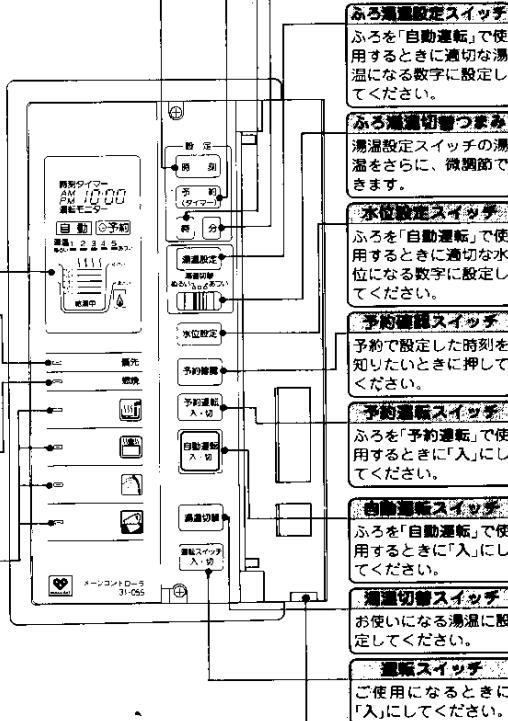
**暖スイッチ**  
時を合わせるときに押してください。

**分スイッチ**  
分を合わせるときに押してください。

**優先ランプ**  
メインコントローラで湯温調節ができるときに点灯します。(風呂コントローラの優先スイッチ「切」)

**給湯準備ランプ**  
お湯を使っているときに点灯します。

**湯温切替ランプ**  
湯温切替スイッチを押すと表示が切り替わります。

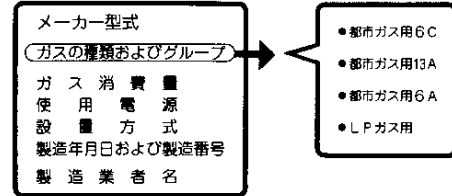


メインコントローラカバー

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

### ● ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



● ガスの種類には、都市ガスとL Pガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

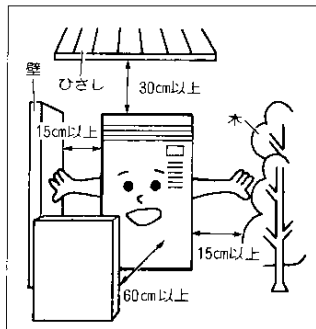
● ガス器具本体右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

● 台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追いだし以外の用途には使用しないでください。

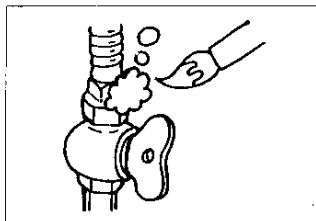
- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。  
(不完全燃焼などの原因になります)

- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(器具の異常過熱などの原因になります)

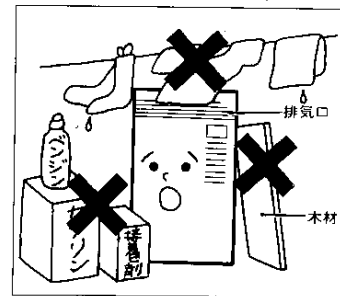
- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。



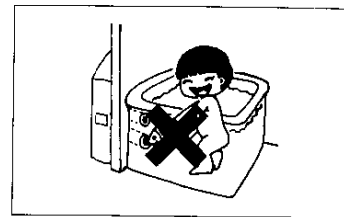
- 使用後は、燃焼ランプが消えたことを確かめてください。
- 長期間使用しないときは、必ずメインコントローラの運転スイッチおよび本体電源スイッチを切り、ガス弁を開けてください。
- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



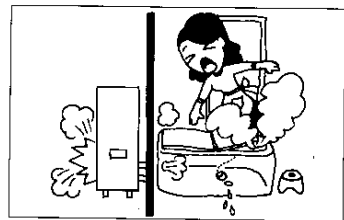
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。  
特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



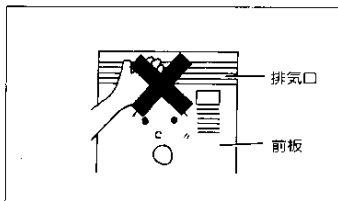
- ふろがまと浴そうを接続している上下連絡水管をタオルなどでふさがないでください。



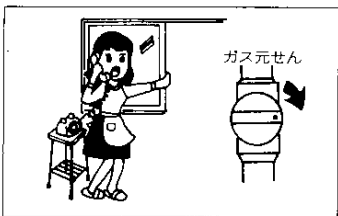
- お風呂を空だきさせないようにご注意ください。そのために排水せんは確実にしめてください。



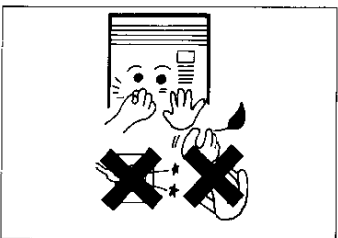
- 使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



- ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉め、窓を開けて換気をおこない、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。詳しくは、30～31ページの「凍結防止について」をお読みください。

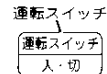
- 万一、異常燃焼(メインバーナー着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。



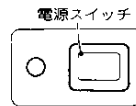
お湯の使用場所

2. 運転スイッチを切る。



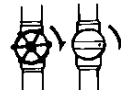
メインコントロール

3. 電源スイッチを切る。



器具の左側

4. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



元せん

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは32～33ページをお読みください)
- 故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

1. 給水元せんを全開にしてください。



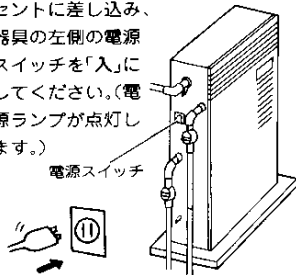
2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから開めてください。



3. ガス元せんを全開にしてください。

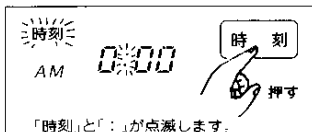


4. 電源プラグをコンセントに差し込み、器具の左側の電源スイッチを「入」にしてください。(電源ランプが点灯します。)



例. 午後 3 時 30 分 (PM 3:30) に合わせる場合

1. メーンコントローラのカバーを開け時刻スイッチを押す。



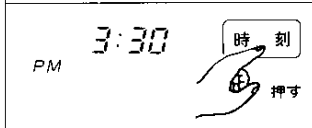
2. 時スイッチで午後 3 時に合わせ。



3. 分スイッチで 30分に合わせ。

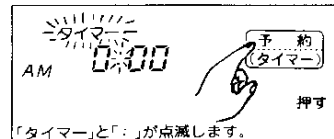


4. 時刻スイッチを押す。

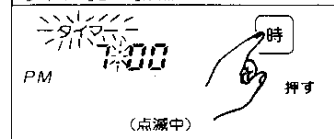


例. 午後 7 時 25 分 (PM 7:25) に運転を開始させる場合

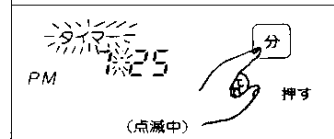
1. メーンコントローラのカバーを開け、予約 (タイマー) スイッチを押す。



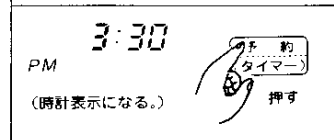
2. 時スイッチで午後 7 時に合わせ。



3. 分スイッチで 25分に合わせ。



4. 予約 (タイマー) スイッチを押す。



● 時スイッチは  
送り方向 (AM 0 → AM 1 → → AM 1 → PM 12 → PM 1 → →)

分スイッチは  
送り方向 (00 → 0 1 → 02 → → → 58 → 59 → 00)

※ 押しつづけると連続的に変わります。

● 時刻を正確に合わせたいときは、時刻の合わせかたの「4」の操作のところで電話 (177番) 等の時報と同時に時刻スイッチを押します。

● 器具の左側の電源スイッチを「入」にしたとき、あるいは停電後の再通電時は



となりますので時刻設定および予約設定をしてください。

## ■ 運転前の準備

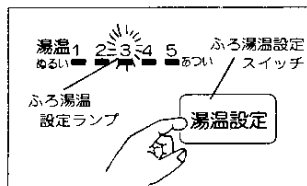
運転スイッチを「入」にしてください。

ふろ(浴そう)へ自動お湯はり・自動沸き上げをするときに使います。

## ■ 点火

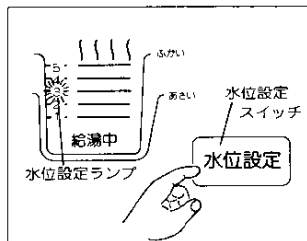
### ① ふろ沸き上げ湯温を設定します

- メインコントローラのカバーを開け、ふろ湯温設定スイッチで適切な湯温になる数字に合わせてください。約36～48℃の範囲で調節できます。(温度調節方法は、16～17ページをお読みください。)



### ② 水位を設定します

- 水位設定スイッチで適切な湯量になる数字に合わせてください。(水位調節方法は、17～18ページをお読みください。)
- [注]
  - 風呂コントローラでは、ふろ沸き上げ湯温および水位の設定はできませんので、メインコントローラで設定してください。

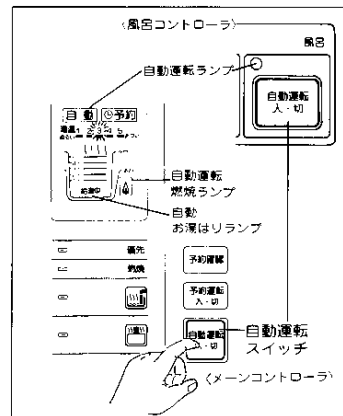


### ③ 浴そうの排水せんをきちんと入れます

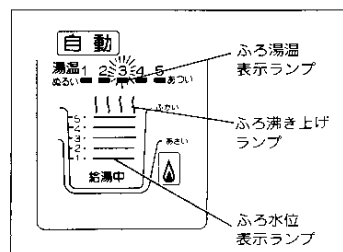
### ④ 浴そうのフタをします

### ⑤ 自動運転スイッチを「入」にします

- メインコントローラまたは風呂コントローラの自動運転スイッチを、「入」にしてください。メインバーナに点火し浴そうの中へ湯が出てきます。メインコントローラと風呂コントローラの自動運転ランプが点灯し、メインコントローラの自動お湯はりランプが点滅し、自動運転燃焼ランプが点灯します。



- 浴そうの湯が設定水位、設定湯温になると、自動的に燃焼が止まり、自動お湯はりランプ、自動運転燃焼ランプが消灯し、ブザーが鳴ると同時にふろ沸き上げランプが点滅をはじめます。(約8秒間)



- 設定した水位、湯温に沸き上がった後も、水位、湯温がさがると自動的に燃焼し、自動お湯はり、自動追いだきを行います。浴そうの水位が設定水位より、2段階さがると自動お湯ほりを始め、ふろの湯温が、設定湯温より1段階さがると自動追いだきを始めます。また、水位設定・湯温設定の数字が大きくなるように設定しても自動的に燃焼し、自動お湯はり・自動追いだきを行います。
- 自動運転は、設定した水位・湯温に沸き上がったから3時間後に、自動的に停止します。(自動運転ランプが消灯します。)

- ふろ沸き上げランプが点灯後、浴そうの水位が、設定水位より2段階さがるまでに給湯される場合は、給湯せんによる給湯を行ってください。
- 浴そうの湯をかきまぜてもぬるい場合は、連続追いだきスイッチを「入」にして追いだきをしてください。(自動運転は停止します。)
- 連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。
- 自動お湯はり中に停電した場合は、燃烧がとまり、停電した時間だけ水が入り浴そうから水があふれる場合があります。このような時は給水元せんを開めてください。再通電時は自動的に水は止まります。
- ふろ湯温表示ランプは自動運転・連続追いだきのときのみ表示します。

## ■消火

### ⑥自動運転スイッチを「切」にします

- 浴そうの湯が設定水位、設定湯温になると、自動的にメインバーナーが消火し、自動お湯はりランプ、自動運転燃焼ランプが消灯します。
- 沸き上がり後および途中で消火したいときは、自動運転スイッチを「切」にしてください。  
メインコントローラ、風呂コントローラの自動運転ランプが消灯します。
- 浴そうの排水せんがはずれていたり、ずれていたりして、自動運転を開始してから40分以上経過しても浴そうの水位が「1」まで達しないときは、自動的に燃焼が止まります。(運転モニターの「4」が点滅しブザーが鳴ります。)この場合、排水せんをきちんと入れて自動運転スイッチを「入」にしてください。
- 使用後は必ず自動運転スイッチを「切」にしてください。

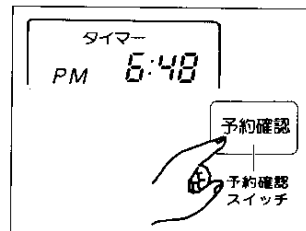
## ■点火

### ①予約(タイマー)を合わせる

- 予約(タイマー)の合わせ方については、10ページをお読みください。  
(注) 予約(タイマー)時刻は自動運転の開始時刻です。  
沸き上がるまでの時間を見込んで予約(タイマー)を合わせてください。  
沸き上がり時間は季節により異なる場合があります。

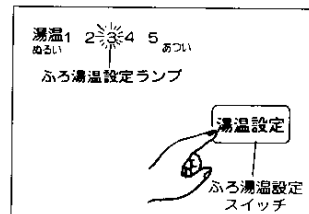
### ②予約(タイマー)の確認をします

- メインコントローラのカバーを開け、予約確認スイッチを押します。  
予約(タイマー)設定時刻が表示されます。



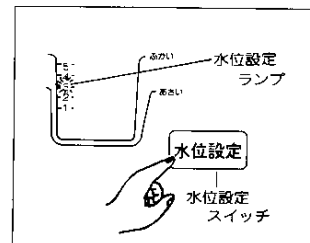
### ③ふろ沸き上げ湯温を設定します

- ふろ湯温設定スイッチで適切な湯温になる数字に合わせてください。  
約36℃～48℃の範囲で調節できます。  
(温度調節方法は、16～17ページをお読みください。)



### ④水位を設定します

- 水位設定スイッチで適切な水位になる数字に合わせてください。(水位調節方法は、17～18ページをお読みください。)



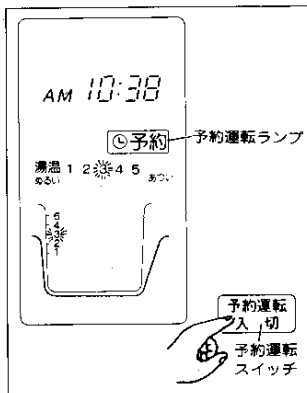
### ⑤浴そうの排水せんをきちんと入れます

### ⑥浴そうのフタをします



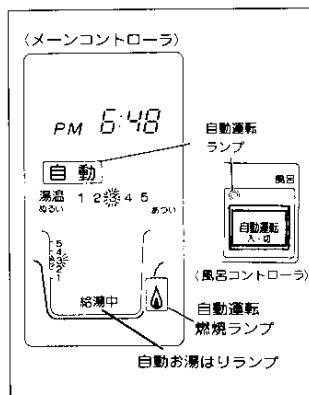
### ⑦予約運転スイッチを「入」にします

- 予約運転スイッチ「入」にしてください。  
予約運転ランプが点灯します。



- 設定時刻になりますと、自動的に自動運転スイッチが入り、メインパネルに点灯し浴そうの中に湯が出てきます。メインコントローラと風呂コントローラの自動運転ランプが点灯し、メインコントローラの自動お湯はりランプが点滅し、自動運転燃焼ランプが点灯します。以後、自動運転を行います。

[注] 設定時刻になる前に、自動運転スイッチを「入」にすると、自動運転を開始し、予約(タイマー)は消されます。



### ■消火

#### ⑧自動運転スイッチを「切」にします

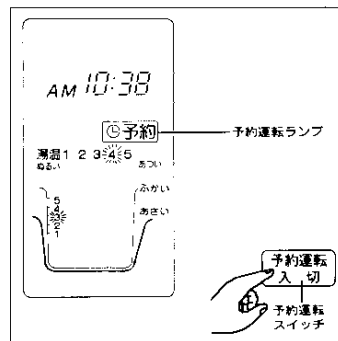
- 浴そうの湯が設定水位、設定湯温になると、自動的に燃焼が止まり、自動お湯はりランプ、自動運転燃焼ランプが消灯し、ブザーが鳴ると同時にふろ沸き上げランプが点滅をはじめます。(約8秒間)

- 沸き上がり後および途中で消火したいときは、自動運転スイッチを「切」にしてください。メインコントローラ、風呂コントローラの自動運転ランプが消灯します。
- 浴そうの排水せんがはずれていたり、ずれていたりして、自動運転を開始してから40分以上経過しても浴そうの水位が「1」まで達しないときは、自動的に燃焼が止まります。  
(運転モニターが「4」が点滅しブザーが鳴ります)  
この場合、排水せんをきちんと入れて自動運転スイッチを「入」にしてください。
- 使用後は必ず自動運転スイッチを「切」にしてください。

### ■予約の取消し

#### ⑨予約運転スイッチを「切」にします

- 予約運転スイッチを「切」にしてください。  
予約運転ランプが消灯します。



### ■温度調節

- ふろ湯温設定スイッチは浴そうの沸き上がり平均湯温を調節するものです。
- 右表の数字で一度試運転し、熱いときは小さな数字で、ぬるいときは大きな数字になるようふろ湯温設定スイッチで設定し、翌日再度試してください。
- 沸き上がり湯温のあつい、ぬるいは湯をかきまぜたあとで確かめてください。

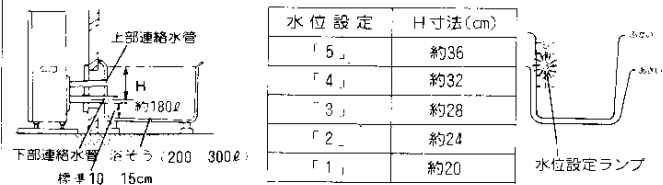
湯温設定	「1」	「3」	「5」
沸き上がり湯温の目安			
ぬるい湯のあつい	約36℃	約38℃	約40℃
ぬるい湯のあつい	約40℃	約42℃	約44℃
ぬるい湯のあつい	約44℃	約46℃	約48℃

- 湯温設定は1数字で約1℃の温度差があります。
- 季節により好みの温度が変わるときや、沸き上がり湯温がずれる場合は、必要に応じて湯温設定スイッチで調節してください。
- ふる湯温設定ランプの数字は「3→4→5→4→3→2→1→2→3」の順に変化します。
- 湯温設定は前ページの下表の湯温に沸き上がるように調整してありますが、水湯・水量により沸き上がり湯温は多少変化します

## ■水位調節

- 水位設定スイッチは浴そうの自動お湯はり水位を調節するものです。
- お湯はり水位の目安

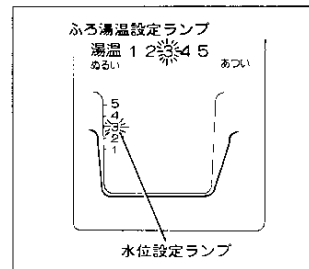
### 〔一般的な設置例〕



- 上表の数字で一度試運転し、水位が高いときは小さな数字に低いときは大きな数字になるよう水位設定スイッチで設定し、翌日再度試してください。
- 洋風バスなどの浅い浴そうの場合、水位設定を高め設定するとお湯があふれることがありますのでご注意ください。
- 水位設定は上表の水位で沸き上がるように調整してありますが、浴そうの形状や連絡水管の取り付け状態により沸き上がり水位は多少変化します。
- 水位設定ランプの数字は「3→4→5→4→3→2→1→2→3」の順に変化します

### 〔注〕

- 使用後、メインコントローラの運転スイッチを「切」にし、再度（または翌日）運転スイッチを「入」にした場合、ふる湯温設定、水位設定は運転スイッチを「切」にする前の数字に設定されますが、器具の左側の電源スイッチを「入」にしたとき、あるいは停電後の再通電時は、ふる湯温設定、水位設定ともに「3」に設定されます。

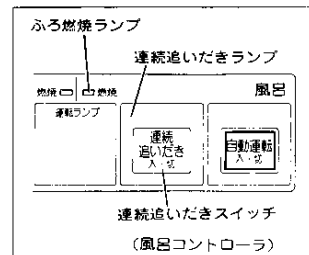


入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

## ■点火

### ①連続追いだきスイッチを「入」にします

- メインバーナーに点火し追いだきをはじめます。  
（連続追いだきランプとふる燃焼ランプが点灯します。）



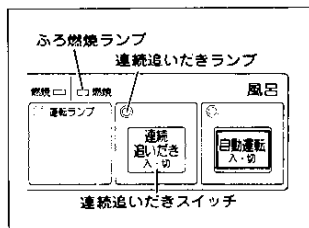
### 〔注〕

- 浴そうの上部連絡水管より10cm以上水（または湯）が入っていることを確認してから操作してください。
- 浴そうの水位が、水位「1」より低い時は、水位が「1」になるまで自動的にお湯はりを始めます。
- 入浴時は必ず浴そうの湯温を確かめてください。

## ■消火

### ②連続追いだきスイッチを「切」にします

- メインバーナーが消火し、ふろ燃焼ランプ、連続追いだきランプが消灯します。



#### 〔注〕

連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。  
ただし、リミット温度になると自動的に消火します。

## ■リミット温度

- ふろを連続追いだきで使用された場合、沸き上げ検知ませんが、連続追いだきスイッチの切り忘れや長時間燃焼させた時の沸騰防止としてリミット温度を設定し、ふろ湯温がリミット温度になると自動的に消火します。

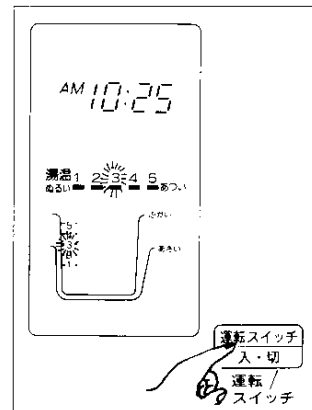
リミット温度は、湯温切替つまみの位置で変化します。

温度切替	リミット温度
湯温切替 ぬるい 50℃ あつい	約46℃
湯温切替 ぬるい 50℃ あつい	約50℃
湯温切替 ぬるい 50℃ あつい	約54℃

## ■点火

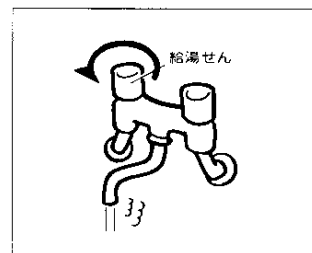
### ①運転スイッチを「入」にします

- メインコントローラのカバーを開け、運転スイッチを「入」にしてください。お知らせモニターが浴そうの表示をし、優先ランプと湯温切替ランプの「□」が点灯します。



### ②給湯せんを開けます。

- メインバーナーに点火し、お湯が出ます。  
(点火と同時に、給湯燃焼ランプが点灯します。)
- 給湯燃焼ランプが約7秒すぎてもつかない(運転モニターの「5」が点滅し、ブザーが鳴る)場合には、給湯せんまたはシャワーせんを閉め、操作しなおしてください。

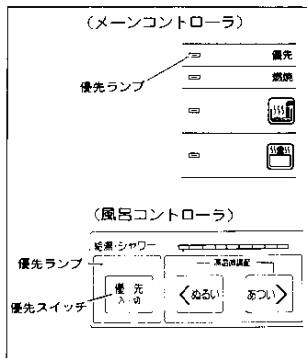


## ■湯温調節

(メインコントローラで湯温調節される場合)

### ①優先ランプの点灯確認

- 優先ランプがついていることを確認してください。優先ランプが消えているときは湯温調節ができません。この場合は風呂コントローラの優先スイッチを「切」にしてください。



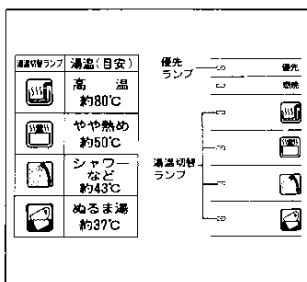
### ②湯温切替

- 湯温切替スイッチを押してお使いになる湯温切替ランプの位置に合わせてください。

[注]

- 自動運転中の場合、湯温切替は「目」の位置になります。

※ただし、湯温はお湯はり設定湯温となります。



(風呂コントローラで湯温調節される場合)

### ①優先ランプの点灯確認

- 優先スイッチを「入」にして優先ランプおよび湯温微調節ランプがつくことを確認してください。この場合、湯温切替はメインコントローラの「目」の位置になります。

## ②湯温微調節

- 湯温を微調節されるときは、湯温微調節スイッチを操作し、適温になるように調節してください。湯温微調節スイッチの「あつい」を押すと湯温は上がり「ぬるい」を押すと湯温は下がります。

(湯温微調節ランプの1目盛で約1℃の温度差があります。)

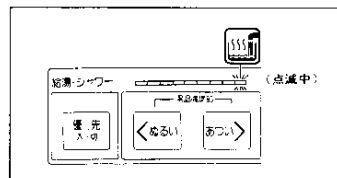
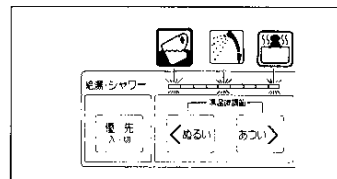
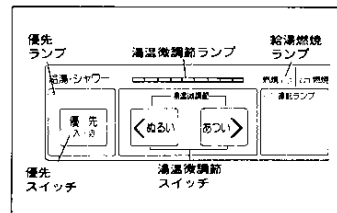
- 風呂コントローラの優先スイッチが「切」の場合、湯温微調節ランプは、メインコントローラの湯温切替ランプの位置を表示します。

- 湯温微調節ランプの右端が点滅中の場合は、メインコントローラの湯温切替ランプの位置が「目」になるので必ず優先スイッチを入れてお使いください。

- 自動運転中の場合も湯温微調節はできます。

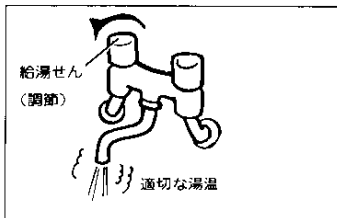
- 風呂コントローラの優先スイッチが入っていてもメインコントローラの運転スイッチを「切」にし、再度運転スイッチを「入」にした場合、湯温切替はメインコントローラの「目」の設定になります。

- 湯温切替ランプの絵表示は、ご使用の目安としてください。(季節により湯温が多少変化することがあります。)

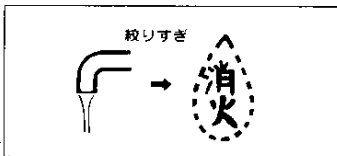


## ■給湯

- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。



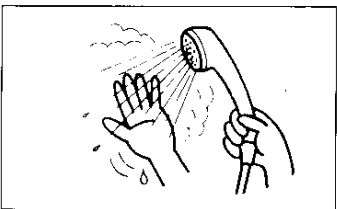
- 湯量は約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっていきます。



### 【注】

- 給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2カ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。

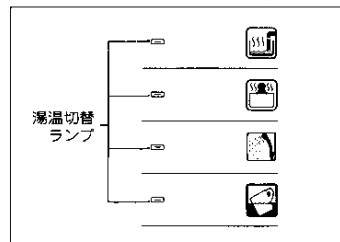
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。



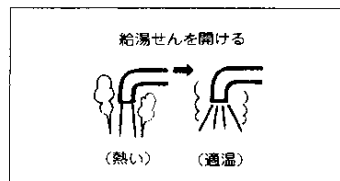
- シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります。

## 夏期には

- 水温が30℃近くになりますと、湯温切替を「」または「」に設定しても湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。

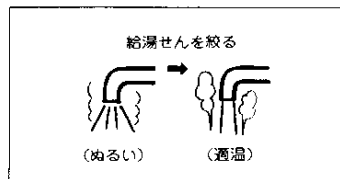


このような場合は、湯量を多く出してお使いください。



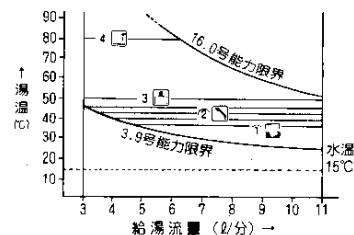
## 冬期には

水温が低い時、高温がとれない場合は給湯せんを絞ってお使いください。



【参考（この特性より多少異なることがあります）○の中の数字は湯温切替スイッチの数字です。下表④③…の□は器具の制御範囲内の給湯量と、湯温とを示します。給湯量は給湯せんを調節します。

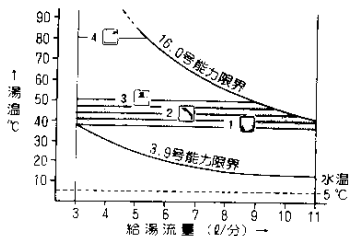
### 【春秋期】



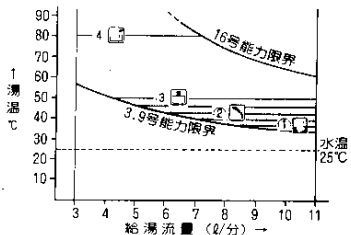
### 【冬期】

【注】

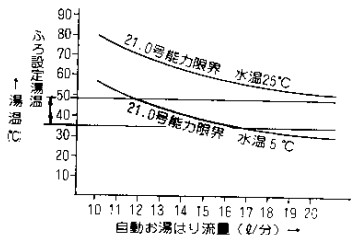
湯温切替スイッチを、「4」にしても、10ℓ/分を給湯しますと、湯温は約45℃にしかなりません。80℃の高温の湯をご使用になりたいときには、給湯量を5.5ℓ/分以下に絞ってご使用ください。



### 【夏期】



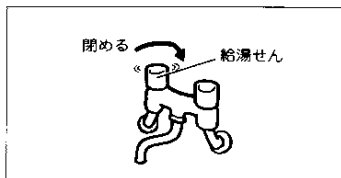
### 【自動お湯はり】



### ■消火

#### ③給湯せんを閉めます

- メインバーナーが消火し、給湯燃焼ランプが消灯します。



### ■運転モニターの表示と処置方法

運転モニター		表示内容と処置方法
ランプの表示	ブザー音	
時計表示 AM 10:00	——	正常運転中です。
運転モニター 4	8秒間鳴る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●断水または給水元せんが閉じています。 (給湯せんから水が出ることを確認してください)</li> <li>●浴そうの排水せんがはずれていて、40分以上自動給湯した場合 (浴そうの排水せんをきちんと入れてください)</li> </ul> <p>メインコントロールの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にしてから操作しなおしてください。それでも正常にもどらない場合は器具が故障していますので、器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水せんを開め、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。</p>
運転モニター 5	連続的に鳴る	<p>ガス元せんが十分開いてないか、ガスがなくなったときに表示します。ガス元せんを十分開き2~3回点火操作を繰り返してください。それでも正常にもどらない場合は器具が故障していますので、器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水せんを開め、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。</p>
運転モニター 6 ) 運転モニター 9 又は 表示しない	連続的に鳴る	<p>器具が故障しています。器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水せんを開めてください。そして、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡し、指示に従ってください。</p>

●停電時は給湯せんを開めてください。

●再通電時は、時刻設定、予約設定をして、11・13・18・20ページの「■点火」に従って操作してください。給湯の湯温切替は、メインコントローラの「3」に、水位設定数字は「3」に、ふろ湯温設定数字は「3」に設定されます。

●断水時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

●再通水したときは、11・13・18・20ページの「■点火」に従って操作してください。

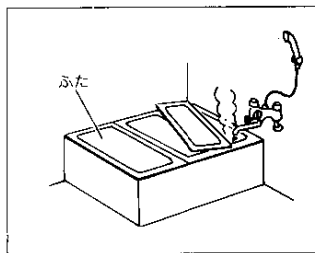
### こまめに湯温切替を！

●水の混合は避け、用途に合わせ、こまめに湯温切替すると、より経済的です。  
(混合水せんで湯温調節しますと、調節する間に流れる水とガスがムダになります。)

### 風呂への給湯・沸き上げは…

●給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。

●ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



●点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、下記の方法および34ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。また上記の安全装置が働いた場合には、運転スイッチを「切」にし、器具左側の電源スイッチを「切」にしてガス元せん・給水元せんを閉めてからお求めの販売店またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。その時、運転モニターが表示している数字も合わせて連絡してください。

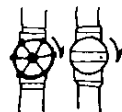
1. 運転スイッチを「切」にする。

2. 電源スイッチを「切」にする。

3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。

4. お求めの販売店へ…

運転スイッチ  
入・切



メイン  
コントローラ

器具の左側

元 せん

連 絡

### 消火安全装置(フレームロッド式)

●バーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

### 過圧逃し弁

●器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

### 給湯空だき安全装置(バイメタル式)

●万一、メインバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。この安全装置は自動的に復帰します。

### ふろ空だき安全装置(バイメタル式)

●排水せんなどからの水漏れによりふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろがまへのガスを自動的に停止します。この安全装置は自動的に復帰します。

### 器体過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。この装置が作動した場合は、温度ヒューズの取り替えが必要です。

### 漏電安全装置

- 器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んでも異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。

### たまった水は飲まないでください

- 器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

### 健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫酸・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

### 雷時の注意

- 激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

### お出かけや、長時間使用しない場合

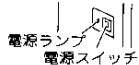
- メインコントローラの運転スイッチおよび、器具の左側の電源スイッチを「切」にし(電源ランプが消えます)ガス元せんを閉めてください。(メインコントローラの運転スイッチを切っただけでは異常検出のため約16ワットの電力を消費しております。)

1. 運転スイッチを「切」にする。



メインコントローラ

2. 電源スイッチを「切」にする。



器具の左側

3. ガス元せんを閉める



元せん

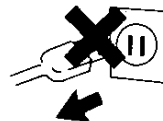


- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険があります。
- 凍結による修理は有料です。

### ①凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。

- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。



- 凍結予防ヒーターは器具の左側の電源スイッチ、およびメインコントローラの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

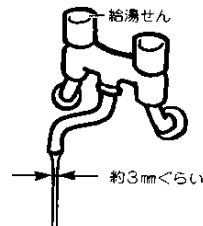
[注]

- 外気温が極端に低くなりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行なってください。
- 停電時には、凍結予防ヒーターが作動しませんので、次の②または③の方法を行なってください。

### ②給湯せんから水を流す方法

- ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本くらゐ)の水を浴そうに流し込んでください。

- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

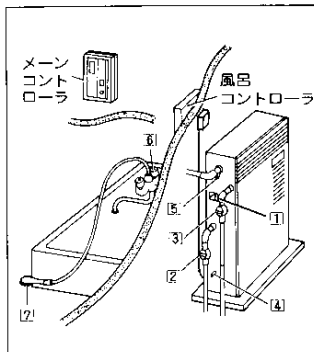




### ③水抜きによる方法

次の順序でおこなってください。

- (1) 器具の電源スイッチⅠを「切」にし、ガス元せんⅡを閉める。
- (2) 給水元せんⅢをしっかりと閉める。
- (3) 水抜きせんⅣ・Ⅴを開ける。
- (4) 給湯せんⅥまたはシャワーせん（シャワーを取り付けている場合）を全部開ける。
- (5) シャワーヘッドⅦを床面まで下げる。
  - 給湯せんⅥおよびシャワーヘッドⅦと、水抜きせんⅣ・Ⅴから水が抜けるのを確認してください。
  - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。（水抜きせんⅣ・Ⅴをはずしたままにしておいてください。）



（水抜き後の使用方法）

- (1) 水抜きせん Ⅳ・Ⅴを元通りしっかりと閉める。
- (2) ガス元せんを止めた状態および器具左側の電源スイッチⅠを「切」にした状態で給水元せんⅡを開け、給湯せんⅥおよびシャワーヘッドⅦから水が出ることを確かめたのち、給湯せんⅥおよびシャワーせんを開める。
- (3) 9 ページの「使用手順」に従ってお使いください。

### ご 注 意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ（メインコントローラの運転スイッチを「切」にした状態で）、給湯せんⅥを開け、水が出るまで待ってからお使いください。
- ①および③の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。

### 凍結したとき

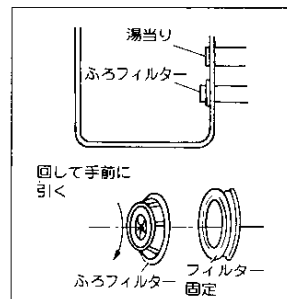
- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください）
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。

- 浴そう内のふるフィルターが詰まっていますか。

（ふるフィルターをはずし、時々掃除してください。ふるフィルターははめ込みになっています。回して手前に引っぱるとはずれます。）

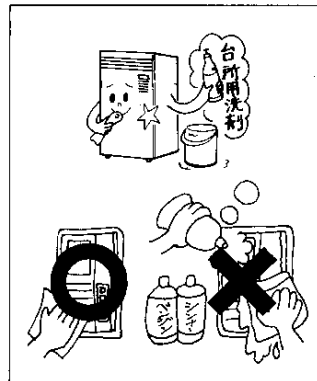
ふるフィルターが詰まると設定水位より湯量が多くなったり、浴槽からあふれることがあります。ふるフィルターを外して掃除してください。



- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）を付けてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

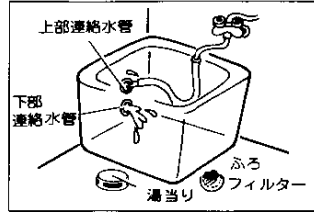
- コントローラ部の表面が汚れたときには、水を付けた布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

〔注〕コントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。



### ふろ用熱交換器のお手入れ

- 上部連結水管の湯当りと下部連結水管ふろフィルターをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢よく出して、熱交換器内を洗ってください。



- ふろが古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを閉めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

ご使用中に、ふだと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。  
(○=主要原因、△=原因)

現象	原因		処置方法												備考			
	表示	原因	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
電源プラグがはずれている(電源スイッチが切になっている)	表示しない	示	○	○	○												プラグをコンセントに差し込み(電源スイッチと電源スイッチ)を入にする	○
ガス元せんの開き不十分	時表計示	計示		△	△	△	○		△	△	△						ガス元せんを全開にする	○
給湯せんの開けすぎ	時表計示	計示						△	○			△					給湯せんを絞る 同時使用をやめる	○
配管内に空気が残っている	5			○		△	△										点火操作を繰り返す	○
ガス圧が適切でない	低い	時表計示			△	△	△	△	△	△	△						他の器具も同様の場合は点検を依頼する (他に原因がないとき)	※
	高い	時表計示																※
給水元せんの開き不十分	時表計示	計示						○	△	△							給水元せんを全開にする	○
水圧が適切でない	低い	時表計示						○	△	△							点検または点検を依頼する (他に原因がないとき)	※
	高い	時表計示							△	△								
水フィルターの詰まり	9							△	△	△							詰まり除去または依頼する	○
断水している	9							○									給湯使用をいったん中止する	○
凍結している	時表計示	表示しない			○												解凍するまで使用を中止する	○
																	電源プラグがはずれている場合はコンセントに差し込み	○
バーナー炎口の詰まり	時表計示	計示		△		△	△	△			△	△					点検を依頼する	※
空気吸込口の詰まり	時表計示	計示							△	△				△			点検を依頼する	※
熱交換器の目詰まり	時表計示	計示								△	△						点検を依頼する	○
湯温調節が適切でない	時表計示	計示							○	○							「器具の使用法」の「湯温調節」を参照する	○
給湯せんの開き不足	時表計示	計示							△	△	○	△					給湯せんを全開にする	○
ノズル詰まり	5			△		△	△					△					点検を依頼する (他に原因がないとき)	※
安全装置が作動	9			○		○	○					○					点検を依頼する (度々作動する場合)	※
ふろフィルターのつまり	時表計示	計示											○				ふろフィルターを掃除する	○
電気部品の故障	456 188			○		○	○	△	△			○	○				点検を依頼する	※
停電	表示しない			○		○	○										再通電するまで待つ	○
風呂コントローラに切り替えている	時表計示	計示							○								風呂コントローラの優先スイッチを「切」にする	○
漏電安全装置の故障	表示しない			○		○	○										点検を依頼する	※
水流スイッチの故障	9																点検を依頼する	※

- 必ずガス元せん・給水元せんを開め、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、水抜きをおこなってください。  
(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります)

●34ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名……………(ガス風呂釜)
- (2)品番……………前板左下部に貼付してあります。
- (3)現象……………(できるだけ詳しく)
- (4)道順……………(できるだけ詳しく)

**(N)31-055**  
大阪ガス株式会社 05

**ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります**

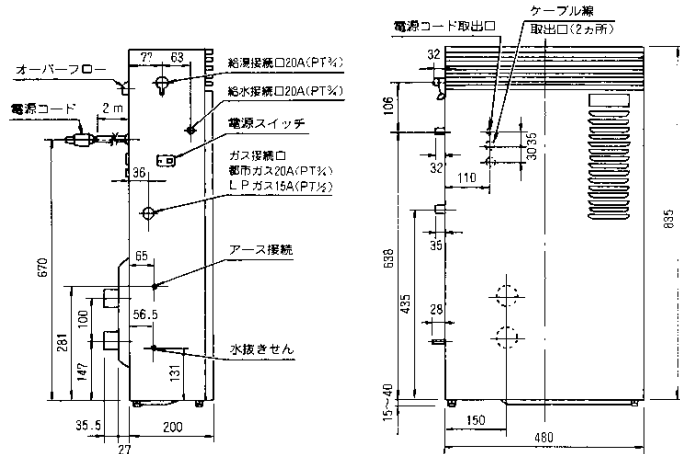
●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。  
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

**この器具には保証書がついています**

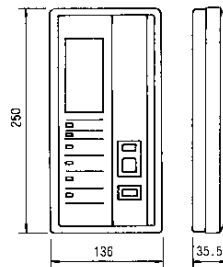
●このガス風呂釜は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。  
詳しくは保証書をごらんください。  
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

(単位：mm)

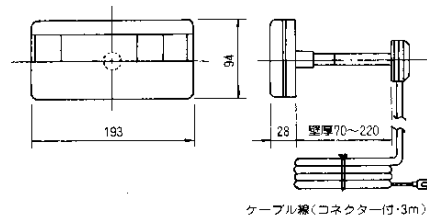
●31-055の外寸寸法図



メインコントローラ



風呂  
コントローラ



# おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを開め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス社・サービスステーションにご連絡ください

## 仕様

項目		器種			
		31-055型			
ガス種類		都市ガス6C用	都市ガス13A用	都市ガス6A用	LPGガス用
寸法 (mm)	高さ	850			
	幅	480			
	奥行き	200			
重量(kg)		34			
標準 インプット (kcal/h)	風呂釜	10,000			
	湯沸器	30,100			
同時使用		39,000			
最大消費 ガス量 (nl/h)	風呂釜	2.4	0.96	1.5	0.83(kg/h)
	湯沸器(大)	7.1	2.9	4.6	2.5(kg/h)
同時使用		9.2	3.7	5.9	3.3(kg/h)
消費電力(W)		最大燃焼時165・低温作動ヒーター210			
常時安全運転モニター		(メインコントローラの運転スイッチ「切」器具本体電源スイッチ「入」の場合)16W			
点火方式		連続スパーク点火方式			
熱交換器	方式	2圧2水路			
	材質	風呂釜・湯沸器：銅製			
最低作動水圧(kg/cm <sup>2</sup> )		0.2			
最低作動水量(L/分)		3.0			
出湯能力(湯沸器)		16号~3.9号(自動お湯はり時、最大21号)			
操作方式		メインコントローラ、風呂コントローラによるリモコン操作			
湯沸器能力切替え		無段階			
接続	ガス	20A		15A	
	連絡水管	45mmφ×ピッチ100mm			
	給水	20A			
	給湯	20A			
電		器具本体電源AC100V(電源コード2m付)			
本体とコントローラとの接続		メインコントローラ……24V低圧用2芯ケーブル(別売) 風呂コントローラ……24V低圧用2芯ケーブル(3m付)			
安全装置		消火安全装置(フレームロッド式)、風呂空だき安全装置、給湯空だき安全装置、器体過熱防止装置、過圧逃し弁、漏電安全装置			
凍結防止対策		低温作動ヒーター			
付属品		メインコントローラ、風呂コントローラ(2芯ケーブル3m付)、浴そう連絡ゴム管2コ、納付バンド4コ、湯当り、風呂フィルター、フィルター固定、固定金具一式、アース棒(2.5mリード線付)			
別売部品		2芯ケーブル3φ-132型、3φ-150型・151型・152型(銅製) 連絡水管 3φ-153型・154型・155型(ステンレス製) 厚壁用スリーブ：3φ-050型、排気カバー：3φ-055型			
日水協認可登録番号		L-365			
B.L.認定番号		KT1893			

●機器本体より第3種接地工事(アース)が必要です。

## 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5丁目4	☎大阪06(202)2221
南支社	☎567 大阪市西区玉出町2丁目9番4号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番5号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎569 高槻市藤の里町3番8号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎662 西宮市利上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東扇支社	☎578 東大阪市船場2丁目3番17号	☎河内0729(62)1131
京阪支社	☎573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(578)5231
京東支社	☎604 京都市中京区南丸太町西側358	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1丁目1-1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	☎675 加古川市加古川町薬津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(31)2221
湖南支社	☎525 泉津市湯分町字飛堀680の1	☎泉津0775(62)5311
彦根支社	☎522 彦根市大東町12-11	☎彦根0749(22)3131
彦根営業所	☎526 彦根市彦根浜町3番4号	☎彦根0749(61)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社